

JIS

建具の断熱性試験方法

JIS A 4710 : 2015

(JTCCM/JSA)

平成 27 年 3 月 20 日 改正

日本工業標準調査会 審議

(日本規格協会 発行)

日本工業標準調査会標準第一部会 建築技術専門委員会 構成表

	氏名	所属
(委員長)	伊 藤 弘	公益財団法人住宅リフォーム・紛争処理支援センター
(委員)	内 山 和 哉	一般社団法人住宅生産団体連合会 (積水ハウス株式会社)
	加 藤 信 介	東京大学
	橋 高 義 典	首都大学東京
	黒 木 勝 一	一般財団法人建材試験センター
	棚 野 博 之	独立行政法人建築研究所
	谷 口 元	一般社団法人日本建設業連合会 (株式会社竹中工務店)
	西 野 加奈子	建築・住宅国際機構
	服 部 幸 夫	断熱・保温規格協議会
	羽 山 眞 一	国土交通省大臣官房官庁営繕部
	藤 野 珠 枝	主婦連合会 (藤野アトリエ一級建築士事務所)
	古 江 郁 子	公益社団法人日本消費生活アドバイザー・コンサルタント・ 相談員協会
	松 村 収	独立行政法人住宅金融支援機構
	本 橋 健 司	一般社団法人日本建築学会 (芝浦工業大学)

主 務 大 臣：経済産業大臣 制定：昭和 54.2.1 改正：平成 27.3.20

官 報 公 示：平成 27.3.20

原 案 作 成 者：一般財団法人建材試験センター

(〒340-0015 埼玉県草加市高砂 2-9-2 アコス北館 N ビル TEL 048-920-3814)

一般財団法人日本規格協会

(〒108-0073 東京都港区三田 3-13-12 三田 MT ビル TEL 03-4231-8530)

審 議 部 会：日本工業標準調査会 標準第一部会 (部会長 酒井 信介)

審議専門委員会：建築技術専門委員会 (委員長 伊藤 弘)

この規格についての意見又は質問は、上記原案作成者又は経済産業省産業技術環境局 国際標準課 (〒100-8901 東京都千代田区霞が関 1-3-1) にご連絡ください。

なお、日本工業規格は、工業標準化法第 15 条の規定によって、少なくとも 5 年を経過する日までに日本工業標準調査会の審議に付され、速やかに、確認、改正又は廃止されます。

目 次

	ページ
序文	1
1 適用範囲	1
2 引用規格	1
3 用語及び定義並びに記号及び単位	2
3.1 用語及び定義	2
3.2 記号及び単位	2
4 測定原理	4
5 試験装置及び試験体	6
5.1 一般	6
5.2 取付パネル	6
5.3 校正板	6
5.4 温度測定及びバッフルの位置	7
5.5 風速測定	7
5.6 試験体	8
6 試験手順	9
6.1 一般	9
6.2 校正方法	9
6.3 測定手順	11
6.4 結果の算出（標準値への変換）	11
7 報告	12
附属書 A（規定）環境温度の求め方	13
附属書 B（規定）端部の線熱貫流率	16
附属書 C（参考）校正板	26
附属書 D（参考）校正及びサッシ窓の測定例	28
附属書 E（参考）熱箱法における熱貫流率測定の不確かさ評価	34
附属書 JA（規定）試験体の取付方法及び伝熱開口寸法の取り方	40
附属書 JB（規定）気流吹出し装置の風向	46
附属書 JC（参考）取付パネルからの損失熱量の測定方法	47
附属書 JD（参考）JIS と対応国際規格との対比表	48
附属書 JE（参考）技術上重要な改正に関する新旧対照表	52
解 説	55

まえがき

この規格は、工業標準化法第 14 条によって準用する第 12 条第 1 項の規定に基づき、一般財団法人建材試験センター（JTCCM）及び一般財団法人日本規格協会（JSA）から、工業標準原案を具して日本工業規格を改正すべきとの申出があり、日本工業標準調査会の審議を経て、経済産業大臣が改正した日本工業規格である。これによって、**JIS A 4710:2004** は改正され、この規格に置き換えられた。

この規格は、著作権法で保護対象となっている著作物である。

この規格の一部が、特許権、出願公開後の特許出願又は実用新案権に抵触する可能性があることに注意を喚起する。経済産業大臣及び日本工業標準調査会は、このような特許権、出願公開後の特許出願及び実用新案権に関わる確認について、責任はもたない。

建具の断熱性試験方法

Windows and doorsets—Thermal resistance test

序文

この規格は、2010年に第2版として発行されたISO 12567-1を基とし、我が国の実情に合わせるため技術的内容を変更して作成した日本工業規格である。

なお、この規格で側線又は点線の下線を施してある箇所は、対応国際規格を変更している事項である。変更の一覧表にその説明を付けて、附属書JDに示す。また、技術上重要な改正に関する新旧対照表を附属書JEに示す。

1 適用範囲

この規格は、建具の断熱性試験方法について規定する。

ただし、次の事項は除く。

- a) 試験体の周囲の外側に生じる端部効果
- b) 試験体への日射によるエネルギー移動
- c) 試験体の隙間からの漏気の影響
- d) 天窓及び出窓

注記 この規格の対応国際規格及びその対応の程度を表す記号を、次に示す。

ISO 12567-1:2010, Thermal performance of windows and doors — Determination of thermal transmittance by the hot-box method—Part 1: Complete windows and doors (MOD)

なお、対応の程度を表す記号“MOD”は、ISO/IEC Guide 21-1に基づき、“修正している”ことを示す。

2 引用規格

次に掲げる規格は、この規格に引用されることによって、この規格の規定の一部を構成する。これらの引用規格は、その最新版（追補を含む。）を適用する。

JIS A 0202 断熱用語

注記 対応国際規格：ISO 7345, Thermal insulation—Physical quantities and definitions, ISO 9288, Thermal insulation—Heat transfer by radiation—Physical quantities and definitions (MOD)

JIS A 1412-1 熱絶縁材の熱抵抗及び熱伝導率の測定方法—第1部：保護熱板法（GHP法）

注記 対応国際規格：ISO 8302, Thermal insulation—Determination of steady-state thermal resistance and related properties—Guarded hot plate apparatus (MOD)

JIS A 1412-2 熱絶縁材の熱抵抗及び熱伝導率の測定方法—第2部：熱流計法（HFM法）

注記 対応国際規格：ISO 8301, Thermal insulation—Determination of steady-state thermal resistance and